

IHI、あいおい損害保険、あおぞら銀行、朝日生命保険、味の素、アメリカンホーム保険、イオン、イトーヨーカ堂、イトキン、IMAGICA、エクソンモービル、エーザイ、NEC、NECシステムテクノロジー、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、エヌ・ティ・ティ・ソルコ、エヌ・ティ・ティ・データ通信、エヌ・ティ・ティ・ドコモ、エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ、荏原製作所、大内新興化学工業、大林組、オリエントコーポレーション、オムロン、学習研究社、関西ペイント東京事務所、関電工、関東電気保安協会、かんぽ生命保険、共栄火災海上保険、協同セミナー、清原住電、キリンホールディングス、近畿日本ツーリスト、クラシエ、栗田工業、群馬銀行、京成電鉄、京浜急行電鉄、原子燃料工業、コスモ石油、コスモビジネスサポート、小林製薬東京支社、五洋建設、コロムビアミュージックエンタテインメント、佐川急便、佐藤工業、三菱、産業振興、資生堂、資生堂化粧品販売、清水建設、蛇の目ミシン工業、ジャパンエナジー、JFEスチール、商工組合中央金庫、商船三井、城北信用金庫、昭和大学、信越エンジニアリング、信越化学工業、新生銀行、ジンダイ、新日本石油、住友金属物流、住友信託銀行、住友生命保険、住友電気工業、住友電設、住友電装、ソニー、損害保険ジャパン、タイヤ建設、第一生命保険、ダイエー、大京、大成建設、太平洋セメント、ダーバン、大同生命保険、ダイハツ工業、大和証券グループ本社、大和ハウス工業、中外製薬、帝国ホテル、電通、東海カーボン、東京海上日動火災保険、東京ガス、東京電力、東芝、東芝総合人材開発、東芝プラントシステム、トビー工業、トビー実業、飛島建設、ドン・キホーテ、日新火災海上保険、日新製糖、日清製粉グループ本社、日清紡、ニッセイ同和損害保険、ニッセイ・リース、日本興亜損害保険、日本生命保険、ソフトバンクテレコム、日本電信電話、日本たばこ産業、日本電気協会、日本航空電子工業、日本山村硝子、ニューオータニ、農林中央金庫、ノザワ、野村証券、ハザマ、パレスホテル、東日本旅客鉄道東京支社、東日本電信電話、日立アプライアンス、日立化成、日立キャピタル、日立金属、日立建機、日立製作所、日立電線、日立ビルシステム、富士火災海上保険東京本社、富士ゼロックス、富士通、富士電機ホールディングス、不動テトラ、マイカル、丸ノ内ホテル、マルハニチロ水産、丸紅、みずほインベスターズ証券、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井造船、三越、三菱化学、三菱地所、三菱自動車工業、三菱製紙販売、三菱倉庫、三菱東京UFJ銀行、三菱マテリアル、三菱UFJ信託銀行、メック・ヒューマンリソース、明治安田生命保険、持田製薬、山崎製パン、三菱UFJニコス、雪印乳業、ラサ商事、リクルート、りそな銀行、レノウン、東京都、大田区、品川区、港区、目黒区、千葉県佐倉市、千葉県松戸市、千葉県松戸市教育委員会、長野県御代田町、日本郵政グループ、練馬区社会福祉事業団、カトリック新聞社、カトリック中央協議会、浄土宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、神社本庁、世界救世教いづのめ教団、世界救世教主の光教団、全日本仏教会、曹洞宗、天台宗、天理教、東方之光、日本聖公会、本門佛立宗、立正佼成会、朝日新聞社、講談社、産業と経済、産経新聞社、時事通信社、集英社、小学館、中央公論社、テレビ朝日、東京新聞、東京メトロポリタンテレビジョン、日本映画衛星放送、日本放送協会、日本放送出版協会、フジテレビジョン、双葉社、文藝春秋、ベネッセコーポレーション、ポニーキャニオン、マガジンハウス（順不同、2009年6月現在）

※統廃合などによって掲載されていない組織もあります。

キリトリ線

第22回人権啓発東京講座

聴講申込書

※第3日目・第4日目、第8日目、第10日目(午後)は、聴講できません。

フリガナ お名前				勤務先 部署名					
勤務先 所在地	〒 _____ TEL: _____ FAX: _____								
聴講関係書 送付先 (上記と異なる 場合のみ)	〒 _____ ご担当者名 TEL: _____ FAX: _____								
聴講希望 講義 (○印をつけて ください)	第1日目(9/9) ②+③	第2日目(9/10) ① ②+③	第5日目(10/7) ① ② ③	第6日目(10/8) ① ②+③	第7日目(10/14) ① ②+③	第9日目(11/4) ① ②+③	第10日目(11/5) ①	第11日目(11/18) ① ②+③	第12日目(11/19) ① ②
聴講料のお支払い方法 いずれかに☑してください。	<input type="checkbox"/> 振り込み <input type="checkbox"/> 請求書 必要 <input type="checkbox"/> 請求書 不要			振込予定日 (月 日)			<input type="checkbox"/> 当日払い <input type="checkbox"/> 請求書 必要 <input type="checkbox"/> 請求書 不要		

キリトリ線

第22回人権啓発東京講座

受講申込書

フリガナ お名前				勤務先 部署名			
勤務先 所在地	〒 _____ e-mail: _____ TEL: _____ FAX: _____						
受講関係書 送付先 (上記と異なる 場合のみ)	〒 _____ ご担当者名 e-mail: _____ TEL: _____ FAX: _____						

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報は、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。
※ふりかえりシートをお送りいたしますので、個人用(職場)のメールアドレスを必ず明記下さい。

人権啓発 東京講座

第22回
2009年度



■ 21世紀は「人権の世紀」です。

2000年12月に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が成立しました。この法律を職場や地域で具体化させ、人権の文化を育てましょう。

■ 部落問題をはじめとする人権問題の基礎講座です。

この講座は、部落問題をはじめ様々な人権問題について学習したいという要望に応えるとともに、具体的な取り組みに学ぶ講座です。

■ 体験と交流、学習者が主人公です。

現地学習・交流学習などの体験学習、自分の問題意識を深めるグループワーク、受講生間の交流・仲間づくりを大切にする講座です。

■ 人権教育のための世界プログラムに対応した学びを創ります。
そのキーワードは人権リーダーの養成です。

私たちの暮らしの中に人権文化を築くために、職場や地域の中で人権学習を推進する「人権リーダー」を養成する講座でもあります。

開催要綱

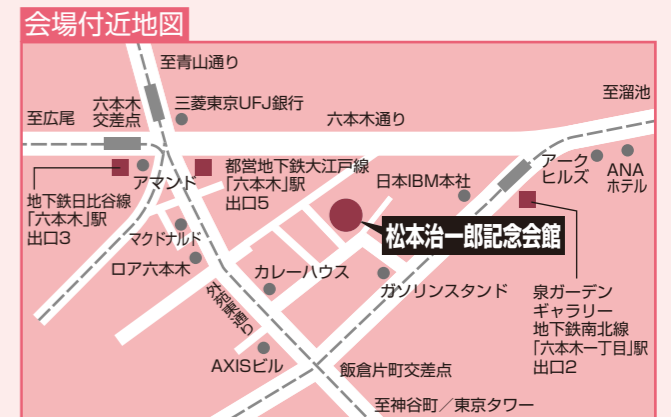
主催 社団法人 部落解放・人権研究所

後援 部落解放同盟中央本部、全国同和教育研究協議会、
『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議、
東京人権啓発企業連絡会、東日本部落解放研究所、
財団法人 松本治一郎記念会館

会場 松本治一郎記念会館
〒106-0032 東京都港区六本木3-5-11

定員 80人(聴講生含む)

受講料 120,000円+消費税
●受講料、テキスト代を含みます。
●現地学習での交通費は含みません。



地下鉄日比谷線「六本木駅」降車 徒歩10分
地下鉄南北線「六本木一丁目駅」降車 徒歩5分

キャリア形成促進助成金について

この制度は、厚生労働省の制度で、企業内における労働者のキャリア形成の効果的な促進のため、目標が明確化された職業訓練の実施、職業能力開発休暇の付与、長期教育訓練休暇制度の導入、職業能力評価の実施またはキャリア・コンサルティングの機会の確保を行う事業主に対して助成する制度です。制度の詳細については、雇用・能力開発機構 各都道府県センターにお問い合わせください。

ホームページ <http://www.ehdo.go.jp> (雇用・能力開発機構)

受講申込方法

2009年7月31日(金)までに、裏面の申込書に必要事項を記入し、部落解放・人権研究所総務部「人権啓発東京講座事務局」まで郵送またはFAXにてお申し込みください。受講決定通知と請求書を送付します。

お申し込み並びに問い合わせ先

社団法人 部落解放・人権研究所 総務部
〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12
TEL 06-6568-0905 FAX 06-6568-0714

受講料は、2009年9月4日(金)までに、下記の銀行口座にお振り込みください。

振込先

サクラガワ
りそな銀行桜川支店 普通預金 **4043343**
社団法人 部落解放・人権研究所 人権啓発東京講座

期間 **2009年 9月9日(水)～**
11月19日(木)までの期間の12日間

受講生は原則として全講義を受講してください。

※8割以上の出席が修了の要件ですので、あらかじめご了承ください。

聴講申込方法

各講義の聴講生を認めます。

1 講義の聴講料は3,000円(学生は1,000円)(税込み)です。(セット講義の場合は、3,000円×コマ数分)

裏面の申込書をご利用の上、聴講料は事前に左記の銀行口座にお振り込みいただくか、当日、受付にてお支払いください。

● 資料等の準備がありますので、聴講申込書に必要事項を記入し、できるだけ事前にお申し込みください。

● 但し、第3日目・第4日目、第8日目、第10日目(午後)を除きます。

修了生の声

株式会社三越 **名取 健一** (第21回 修了生)



昨年の10月22日～12月3日までの12日間「第21回人権啓発東京講座」が開催され、私も受講者の一人として参加しました。毎年開催されるこの講座は、新任人権啓発担当者の登竜門として部落問題をはじめとした様々な人権問題に視点をあてた基礎講座で、現地学習、交流学习等も採り入れたとても充実したプログラムになっています。

当初はボリュームの多さに圧倒され、最後まで受講できるか心配でした。しかし、現地学習を通じて、今なお差別がおこなわれている現実を知り、差別を生み出す「偏見」を無くするためには、人権についての歴史と差別の現状を知り「人権についての正しい知識を得ること」、そして、当事者の方々の原体験を知ることにより「不当な差別に対する怒り」「相手のことを思いやる心」を持つことの大切さを知ることができました。

この講座で得たことを、自分なりに整理し、社内での研修・啓発活動に活かしていきたいと思います。

神戸市教育委員会生涯学習本部社会教育課 **越光 栄樹** (第21回 修了生)



私は、この研修を受講する前から職場において人権研修を受けておりました。それまでの研修は、講義およびビデオによるものがほとんどでした。しかし、この人権啓発東京講座では、実際に被差別部落へ行き、差別戒名の墓石や、差別を受けた体験のある当事者からのお話など、他の研修では経験することができない内容を、身近に学び感じることができました。また、部落問題のみならず、現在、起きているさまざまな人権問題や社会問題をテーマとしており、幅広く体系的に学べる内容でした。長野での宿泊研修では受講生同士の懇親会があり、それまでの緊張感が一気にほぐれ、その後の研修を積極的に楽しく受けることが出来ました。また、「仲間づくりを大切に作る講座」という趣旨から、研修期間中または、その後においても受講生同士の交流を深め研修終了後においても、同じ班の方たちとはお付き合いがあり、よい経験をする事ができました。最後に、この企画をされた事務局、担当の皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

社会福祉法人 練馬区社会福祉事業団 地域支援課 **増子 和人** (第21回 修了生)

第21回人権啓発東京講座は、福祉職である私にとって、とても、有意義な十二日間でした。

人権について学ぶ機会は、社会福祉法人で働く福祉職として、切望していました。講座のひとつ、ひとつが、魂を揺さぶられる内容であり、生涯、忘れられない体験となりました。また、講座を通して、多くの仲間を得られたことも、私の宝物となりました。

社会福祉法人は、公的使命として人権尊重や認知症高齢者の方などの支援を期待されています。是非、多くの社会福祉法人の方が、この講座に学び、人権について、認識を深めて頂きたいと思えます。

曹洞宗 人権擁護推進本部 **櫛田 俊道** (第21回 修了生)

初めの日、六本木へ向かう道のりがやけに遠く感じたのを半年を過ぎた今でもはっきりと憶えています。修了を迎える日には、「これでやっと終わったのだ」という安堵感と同時に、「これでもうおしまいなのか」という相反する感情がどこから湧き起こってきたのもまた事実です。

最先端の水準に触れ、学び、感じてそれを共有すること。今までに見たことのない世界を見ること。あの東京講座で得たものは、私がおの時に感じていたよりも、もしかしたらずっと大きかったのかもしれない。

「どうぞあまり構えずに。」受講される皆さまにとって、素晴らしい12日間でありますように。

講義内容

	① 9:30～11:30	② 12:30～14:50	③ 15:10～17:30
第1日目 9月9日(水)	開講式 オリエンテーション(グループ編成) 受講生の自己紹介	人権の概念と歴史① 友永健三(部落解放・人権研究所理事)	人権の概念と歴史②・グループ討議 友永健三(部落解放・人権研究所理事)
第2日目 9月10日(木)	部落の歴史 寺木伸明(部落解放・人権研究所理事長)	部落解放運動の歴史・部落差別の捉え方① 谷元昭信(部落解放同盟中央本部書記次長)	部落解放運動の歴史・部落差別の捉え方②・グループ討議 谷元昭信(部落解放同盟中央本部書記次長)
第3日目 9月15日(火)	移動	宿泊研修(長野) 現地学習	宿泊研修(長野) 現地学習
長野県内フィールドワーク 1泊2日の宿泊研修で宗教と部落差別(問題)、被差別部落の歴史と現状等について学習します。			
第4日目 9月16日(水)	宿泊研修(長野) 現地学習	宿泊研修(長野) 現地学習	移動
第5日目 10月7日(水)	女性と人権 竹信三恵子(朝日新聞東京本社)	子どもと人権 井上 仁(日本大学准教授)	在日コリアン・外国籍住民とその子どもたちの人権 佐藤信行(在日韓国人問題研究所)
第6日目 10月8日(木)	東京都における部落差別の実態と解放運動 浦本蒼至史(部落解放同盟東京都連合会執行委員)	差別をなくす社会システムのあり方① 北口末広(近畿大学教授)	差別をなくす社会システムのあり方② 北口末広(近畿大学教授)
第7日目 10月14日(水)	過労死・過労自殺と人権 川人 博(弁護士)	職場のハラスメントなぜ起きる、どう対処する① 金子雅臣(労働ジャーナリスト)	職場のハラスメントなぜ起きる、どう対処する② ビデオ+問題提起+グループ討議 金子雅臣(労働ジャーナリスト)
第8日目 10月15日(木)	終日現地学習(全生園) 現地学習 国立ハンセン病資料館見学	終日現地学習(全生園) 現地学習 ハンセン病隔離の歴史と現状	終日現地学習(全生園) 現地学習 多磨全生園内見学(班毎で)
第9日目 11月4日(水)	企業の社会的責任と人権 関正雄((株)損害保険ジャパンCSR・環境推進室長)	企業における人権研修の実践例① 竹内 良(東京人権啓発企業連絡会常務理事・啓発委員長、JFEスチール(株)人権啓発室長)	企業における人権研修の実践例② 竹内 良(東京人権啓発企業連絡会常務理事・啓発委員長、JFEスチール(株)人権啓発室長)
第10日目 11月5日(木)	性的少数者と人権 上川あや(世田谷区議会議員)	終日現地学習(墨田支部) 現地学習 墨田地区が担ってきた歴史と今日の部落差別の実態 (依頼中)	終日現地学習(墨田支部) 現地学習 地区内視察、産業・教育資料室さねがわ見学 (依頼中)
第11日目 11月18日(水)	障害者と人権 野沢和弘(毎日新聞社、全日本手をつなぐ育成会)	人権としてのメディア・リテラシー① 西村寿子(部落解放・人権研究所啓発・販売部長)	人権としてのメディア・リテラシー② 西村寿子(部落解放・人権研究所啓発・販売部長)
第12日目 11月19日(木)	部落解放運動がめざすべき方向 組坂繁之(部落解放同盟中央執行委員長)	人権啓発ビデオを利用した人権研修のあり方 野口晃嗣(東京人権啓発企業連絡会、朝日生命保険(相)総務人事統括部門人権教育担当ゼネラルマネージャー)	修了式

※ **現地学習** のコマは、聴講を受けつけておりません。